




# 第3次総合計画における基本構想について

## 【基本理念】

旧名寄市・旧風連町	新名寄市総合計画（第1次）	庁内検討若手職員ワーキンググループ 第2次総合計画策定に向けた提言書	第2次総合計画	第3次総合計画（案）
<p>第4次名寄市総合計画</p> <p>まちづくりの4つの視点</p> <p><b>産業</b> 「活力あふれる」 ふるさと・名寄づくり</p> <p><b>人</b> 「いきいき輝く」 ふるさと・名寄づくり</p> <p><b>生活</b> 「安心・健やかな」 ふるさと・名寄づくり</p> <p><b>冬</b> 「雪質日本一を楽しむ」 ふるさと・名寄づくり</p>	<p>まちづくりの5つの基本理念</p> <p><b>協働</b> 市民自治、地域主権の理念のもと、市民と行政が協働する地域自治組織を創設し、自立するまちを目指します。</p> <p><b>健康</b> 人と人が支え合い、健やかに暮らすことができ、一人ひとりが生涯輝いていられるまちを目指します。</p>	<p>まちづくりの基本理念</p> <p><b>人づくり</b> まちづくりの原動力は人であり、まちは市民に支えられて成り立つものであることから、まちづくりの原点は人づくりといえます。市民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することのできるまちをつくりまします。</p>	<p>まちづくりの3つの基本理念</p> <p><b>人づくり</b> まちづくりの原動力は人であり、まちは市民に支えられて成り立つものであることから、まちづくりの原点は人づくりといえます。故郷への誇りと愛着を育み、また、生涯を通して学び、スポーツ・文化に親しめる環境をつくり、市民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することのできるまちをつくりまします。</p>	<p>まちづくりの3つの基本理念</p> <p><b>人づくり</b> 「まちづくりは人づくり」という言葉があるとおり、活力ある豊かなまちを築いていくためには人の力が大きな原動力になります。 こどもから大人まで生涯を通じて学ぶことができる環境をつくり、故郷への誇りと愛着持ち、まちの未来に主体的に関わる人材を育むことを大切にしてまちづくりを推進します。</p>
<p>第3次風連町総合計画</p> <p>まちづくりの5つの風</p> <p>地場産業の振興や新たな産業の創出など、生活基盤の整備を図る <b>「みのりの風」</b></p> <p>豊かな自然や歴史・文化をまちづくりに生かし、快適な環境を生み出していく <b>「くらしの風」</b></p> <p>高齢化社会に備え、いつまでも健康で暮らしていける <b>「やすらぎの風」</b></p> <p>生涯を通じて学び、自らが生きがいのある人生を送る <b>「まなびの風」</b></p> <p>地域間の連携と確かな行政を進める <b>「ふれあいの風」</b></p>	<p><b>生活</b> 豊かな緑を大切にし、自然と調和した快適な生活環境を確保し、未来へとつなぐまちを目指します。</p> <p><b>活力</b> 地域の特性を活かしながら産業間連携を進め、自立的に発展する活力あるまちを目指します。</p> <p><b>人づくり</b> 生涯学習活動や文化活動を充実させ、市立大学などの地域資源を活かした個性あふれるまちを目指します。</p>	<p><b>暮らしづくり</b> まちづくりの基礎は暮らしであり、まちは日々の人々の暮らしで成り立つものであることから、まちづくりの根幹は暮らしづくりといえます。市民一人ひとりが安心して安らぎのある持続可能な暮らしができるまちをつくりまします。</p> <p><b>元気づくり</b> まちづくりの活力は元気であり、まちは元気によって支えられています。まちづくりの源は元気づくりといえます。市民一人ひとりがまちの魅力を認識し、まち全体が元気にあふれた、希望のあるまちをつくりまします。</p>	<p><b>暮らしづくり</b> まちづくりの基礎は暮らしであり、まちは日々の人々の暮らしで成り立つものであることから、まちづくりの根幹は暮らしづくりといえます。市民と市が協働し、また、安全で安心して暮らすことのできる環境をつくり、市民一人ひとりが安心して安らぎのある持続可能な暮らしができるまちをつくりまします。</p> <p><b>元気づくり</b> まちづくりの活力は元気であり、まちは健康や資源といった地域の元気によって発展していくものであることから、まちづくりの源は元気づくりといえます。生涯健康で生き活きと輝き、また、地域特性を活かした資源の発掘・利用ができる環境をつくり、市民一人ひとりがまちの魅力を認識し、まち全体が元気にあふれた、希望のあるまちをつくりまします。</p>	<p><b>つながりづくり</b> 複雑化する地域の課題を解決し、未来へ向けて新たな活力を生み出していくためには、多様な主体が手を取り合い、力を合わせる事が不可欠です。 新たな価値の創造を目指し、人と人、人と組織、デジタルとアナログなど、様々なつながりを大切にしてまちづくりを推進します。</p> <p><b>幸せづくり</b> これからのまちづくりは、物質的な豊かさと精神的な豊かさが調和した、市民の心からの笑顔が増えるまちを目指すことが必要となります。 市民が日々感じる心の充足感や、生きがい、安心感といった「市民幸福度の向上」を大切にしてまちづくりを推進します。</p>

# 第3次総合計画における基本構想について

## 【将来像等】

旧名寄市・旧風連町	新名寄市総合計画（第1次）	庁内検討若手職員ワーキンググループ 第2次総合計画策定に向けた提言書	第2次総合計画	第3次総合計画（案）
<p><b>第4次名寄市総合計画</b></p> <p>【まちづくりテーマ】 第3次計画で策定されたテーマですが、広く市民生活に浸透していますので、名寄2世紀のまちづくりを展望するため新計画へ継続します。</p> <p><b>きらきらいきいき 北の都まち なよろ</b></p> <p>【名寄2世紀のまちづくりの目標】 まちづくりテーマを補完しめざす都市像を明らかにするため、「名寄2世紀のまちづくりの目標」を次の通り定めます。</p> <p><b>自然の恵みが、元気いっぱいの産業といきいきした人を育み 快適な環境で健康・安心への想いが満たされる 生活創造のまち・名寄</b></p>	<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>”星・雪・きらめき”は、名寄市の豊かな自然環境のすばらしさやいきいきとした市民の姿を表しており、”緑の里なよろ”は、天塩川の恵みに育まれてきた農業をはじめとする産業と人と人との結びつきを大切に支え合い、一人ひとりが輝く名寄のまちを表しています。</p> <p>【将来像】</p> <p>基本理念を踏まえ、目指すべき将来像を次のように設定します。</p> <p><b>自然の恵みが人と地域を育み 市民みんなで創る 心豊かな北のまち・名寄</b></p>	<p>【将来像】</p> <p>この将来像の実現に向けて、市民と行政が互いに役割を認識して進んでいくものとします。</p> <p><b>【協働】市民と行政が連携し 育む住みよい「なよろ」</b></p>	<p>【キャッチフレーズ】</p> <p>○ 第1次総合計画のキャッチフレーズが、名寄市のイメージとして広く浸透していることから、第2次総合計画へ継続する。</p>  <p>【将来像】</p> <p><b>自然の恵みと財産を活かし みんなでつくり育む 未来を拓く北の都市(まち)・名寄</b></p>	<p>【キャッチフレーズ】</p> <p>○ 第1次総合計画のキャッチフレーズが、名寄市のイメージとして広く浸透していることから、第3次総合計画へ継続する。</p>  <p>【将来像】</p> <p>別紙 資料2-3 のとおり</p>
<p><b>第3次風連町総合計画</b></p> <p>【キャッチフレーズ】</p> <p><b>「いい夢はこぶ風のまち」</b></p> <p>【将来像】</p> <p>『新・人間生活都市・ふうれん』 これは、21世紀に向けて、穏やかではありませんが、着実に夢を膨らませる新しい風（ニューウインド：NEW WIND）を、町民と行政が一体となって巻き起こしていくとするものです。</p>	<p>天塩川の恵みや、美しい四季の自然と気候風土から培われた農業を基幹として発展してきた歴史や伝統と文化は、先人が残してくれた大切な財産です。 このことに畏敬の念を抱き、私たちは、未来に誇れる郷土をつくるために、人と人との結びつきを大切に、市民一人ひとりが創造力を発揮して、地域が持つ「本物の豊かさ」を追求するまちを目指します。</p>	<p>第2次名寄市総合計画の計画年次には、人口減少、少子高齢化、ライフラインの老朽化に伴う対応等さまざまな問題が予想されています。これらの問題に立ち向かうためにはさまざまな施策、場面において市民と行政の協働を積み重ねて、地域力を向上させていくことが必要です。</p>	<p>豊かな自然と先人により培われた歴史・文化を尊重し、市民と行政との協働により、故郷への誇りと愛着を育むとともに、新たな時代の中で、人や地域との絆を強め、これからも誰もが住み続けたいと思える北の未来を拓く都市(まち)を目指します。</p>	

○ 第3次総合計画における、目指すべき「将来像」については、次に掲げる背景を踏まえ、将来像（案）をベースに総合政策部会において検討します。

#### 【背景】

- 第3次総合計画期間中においては、少子高齢化や人口減少の進行が早まることが予測され、地域にとって労働力の減少や地域コミュニティの機能低下といった影響が生じることが考えられます。
- また、市政運営においても、歳入の減少が見込まれる中、公共施設やインフラの老朽化対策や扶助費の増大などにより非常に厳しい行財政状況が続くことが想定されます。
- このような状況の中、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味するウェルビーイング（幸せ）が近年注目されており、この視点を持って市民が幸せを実感できるまちを構築していくことが求められています。
- また、地域の振興を図るための近隣自治体と連携した取組を進めていく上で北・北海道中央圏域定住自立圏の中心市であり、上川北部地域における中核的都市でもある本市に対しては、今後、より一層のリーダーシップを発揮することが求められることが想定されます。

#### 【将来像（案）】

##### 【将来像】

「ここでいい」じゃなく「ここがいい」  
豊かな自然と人のつながりで未来を拓くまち名寄

#### 〈市民ワークショップにおける将来像案〉

- 【A】 自然の恵みで健やかな暮らしと若者に寄りそい、地域でつながる活気あるまち名寄
- 【B】 耀くまちNAYORO
- 【C-1】 「ここでいい」じゃなく「ここがいい！」  
つながりを大切に作る幸せをつむぐまち笑顔でただいまナヨロ！
- 【C-2】 「農」と「自然」とともに生きる小さくても雪質が輝くスノータウン名寄
- 【D】 なよろって なんか よいまち ろーかるだけど 笑顔あふれる～ネオ♡ローカル
- 【E-1】 豊かな自然を活かし 未来を共創する開かれたまち名寄
- 【E-2】 人の営みと自然が合流し 心地よい豊かさを生み出す ナイオロプトとまち
- 【F】 未来へののびゆく愛～きらっと輝く名寄が好き～
- 【G】 自然NA笑顔YOROこびきらめくみんなが繋がる都市へ

#### 〈キーワード〉

- 【A】 自然 若者 暮らし 人
- 【B】 雪・星・人・市 イメージ 可能性
- 【C】 つながり 幸せ 生活  
ともに生きる 雪質が輝く スノータウン
- 【D】 名寄の良さ ネオローカル
- 【E-1】 主体性 協働 自然 安心・安全
- 【F】 愛 つながり 自然

# 第3次総合計画における基本構想について

## 【基本目標】

旧名寄市・旧風連町	新名寄市総合計画（第1次）	庁内検討若手職員ワーキンググループ 第2次総合計画策定に向けた提言書	第2次総合計画	第3次総合計画（案）
<p><b>第4次名寄市総合計画</b></p> <p><b>【施策の大綱】</b></p> <p><b>I 公開と参加でつくるまちづくり</b> (行財政・市民参画・交流活動)</p> <p><b>II 安全で自然と環境にやさしいまちづくり</b> (生活環境・コミュニティ)</p> <p><b>III みんなで助け合い健康で安心して暮らせるまちづくり</b> (保健・医療・福祉)</p> <p><b>IV ゆとりと潤いのある快適なまちづくり</b> (都市基盤)</p> <p><b>V 心豊かな人間性とスポーツ・文化の誇れるまちづくり</b> (教育・文化・スポーツ)</p> <p><b>VI 魅力と活力ある産業が育むまちづくり</b> (産業・観光・雇用)</p>	<p><b>●基本目標1（市民参画・健全財政）</b> <b>市民と行政との協働によるまちづくり</b></p> <p>市民がまちづくりに参加できる機会を広げ、市民自治の制度的な仕組みづくりに努めていきます。また、情報公開を積極的に進め、市政に関する情報の共有化を図り、コミュニティ活動の推進、人権尊重、男女共同参画の推進に努めるとともに、情報通信技術を活用した市民サービスの向上を図ります。さらに、行財政改革を推進し、行政評価、行政組織の見直しなど、厳しい財政事情や地方分権に対応した効果的・効率的な行政運営を進めます。</p> <p><b>●基本目標2（保健・医療・福祉）</b> <b>安心して健やかに暮らせるまちづくり</b></p> <p>市民の健康づくりを促進するとともに、どこにいても適切な医療が受けられるように地域医療の充実を図ります。また、子どもがのびのびと育ち、女性が仕事を続けながら安心して子どもを産み育てられるよう、保育サービスの充実やひとり親家庭への支援、遊び場の確保など、子育て環境を整備します。さらに、市民が互いに助け合う地域福祉社会づくりを進め、福祉・介護保険サービスの提供体制の充実を努めます。</p> <p><b>●基本目標3（生活環境・都市基盤）</b> <b>自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり</b></p> <p>多彩な自然環境の保全を図るとともに、景観の整備や少子高齢化に対応した居住環境の整備、ごみの排出抑制・再利用や処理体制の整備など、生活環境の整備を進めます。また、消防・救急・防災対策など、生活安全対策の強化に努めます。さらに、市街地の計画的整備や道路・交通ネットワークの整備、雪に強い除排雪体制の確立に努めます。</p>	<p><b>子育て</b></p> <p>安心して産み育てられ、将来を担うすべての子どもたちが健やかに成長できる社会を目指します。</p> <p>子どもが健やかに成長するには、安心して出産・育児ができる環境が不可欠です。安心して子どもを産み、子育てに喜びをもてるよう、子育てに関わるすべての市民を支援し、地域全体で子どもを育てられるような子育て環境を整備し、不安や負担の軽減を図ります。</p> <p><b>教育</b></p> <p>すべての年代が生涯を通して学び、スポーツ・文化に親しめる環境づくりに努めます。</p> <p>地域に根付き、地域特性に培われた人材の育成は市民共通の願いです。その実現には幼児から高齢者までのすべての年代において地域の特性を活かした学習・体験機会の提供が不可欠です。市民の財産である市立大学を、さらに身近に感じられるよう連携した取り組みを進めます。</p> <p><b>市民自治</b></p> <p>市民と行政が地域の課題などを認識し合い、助け合い、支え合える地域をつくりまします。</p> <p>市民と行政が共に考え、共に歩む協働のまちづくりを進めるため、地域住民が自主的、主体的に地域づくりを推進できるよう、市民の意見や提言等市民ニーズを的確に市政に反映します。また、男女がその個性や能力を十分に発揮し、支え合う男女共同参画社会推進のため、意識啓発活動など必要な施策を実施します。</p>	<p><b>●基本目標1（市民参画・健全財政）</b> <b>市民と行政との協働によるまちづくり</b></p> <p>市民がまちづくりに参加できる機会を広げ、故郷への誇りと愛着が育まれるまちづくりに努めていきます。また、情報公開を積極的に進め、市政に関する情報の共有を図るとともに、人権尊重、男女共同参画の推進を図ります。</p> <p>さらに、行財政改革を推進し、行政運営の見直しを行うとともに、ICTを活用した市民サービスの向上に努め、持続可能なまちづくりのため、効果的・効率的な行政運営を進めます。</p> <p><b>●基本目標2（保健・医療・福祉）</b> <b>市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり</b></p> <p>住み慣れたこの地域で、こども、高齢者、障がい者などすべての市民が、互いに支え合いながら、自分らしく生きるための「自立と共生」の地域社会づくりを目指します。</p> <p>市民誰もが安心して健やかに暮らしていくことができるように、保健医療福祉の連携をさらに進めるとともに、民生委員児童委員をはじめとする市民の方々と協働して、みんなにやさしい福祉のまちづくりを進めます。</p> <p><b>●基本目標3（生活環境・都市基盤）</b> <b>自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり</b></p> <p>豊かな自然環境の保全を図るとともに、快適な居住環境の整備、ごみの適正処理のための体制と施設など、生活環境の整備を進めます。</p> <p>また、消防・救急・防災、交通安全など、生活安全対策の強化に努めます。</p> <p>さらに、都市機能を集約した配置による効率的な行政サービスの提供を目指し、人口減少や少子高齢化に対応するコンパクトなまちづくりを推進します。</p> <p>また、交通ネットワークの整備や道路・公園・上下水道・公営住宅などの都市基盤施設の維持や冬の道路環境の向上など、継続して、安全安心なライフラインの確保に努めます。</p>	<p>○ 第3次総合計画においては、各政策分野ごとの「分野別計画」と、全庁横断的な取組が求められる「重点的施策」を設定することとしており、分野別計画については、長期的な視点を持つ必要があることに加え、総合計画審議会の専門部会において各委員の専門的な見地から検討を進める必要があることから、分野別計画の大項目となる「基本目標」については、政策の継続性の確保と専門部会の所掌との整合を図るため、第2次総合計画の基本目標の考え方を踏襲することとし、5つの政策分野に区分する。</p> <p>○ 基本目標の標題は、それぞれ所掌する専門部会において検討する。</p> <p><b>（市民参画／健全財政）</b> : 総・市・教部会 <b>（保健／医療／福祉）</b> : 保・医・福部会 <b>（生活環境・都市基盤）</b> 生活環境 : 総・市・教部会 都市基盤 : 産・都・交部会 <b>（産業振興）</b> : 産・都・交部会 <b>（教育・文化・スポーツ）</b> : 総・市・教部会</p> <p>○ それぞれの基本目標の標題については、第1・2次総合計画を踏襲し、「～まちづくり」とする。</p> <p><b>●基本目標1（市民参画・健全財政）</b> <b>市民の力と健全な経営で歩む持続可能なまちづくり</b></p> <p>市民一人ひとりがまちづくりの主役として参画し、地域課題の解決に向けて共助・協働する社会を目指します。また、多様化する市民ニーズを的確に反映させるため、情報の共有と対話を推進し、透明性の高い開かれた行政運営を推進します。</p> <p>また、人口減少に伴う税収減や社会保障費の増大を見据え、事務事業の不断の見直しやDXの推進による行政効率化を図ります。</p> <p><b>●基本目標2（保健・医療・福祉）</b> <b>誰もが健やかに安心して暮らせる支えあいのまちづくり</b></p> <p>こどもから高齢者まで、住み慣れた地域で健やかに自分らしく暮らし続けることができるよう、地域医療体制の維持・確保と福祉サービスの充実を図ります。特に、市立病院を中心とした地域医療体制の維持確保や、健康寿命の延伸に向けた予防医療・健康づくりを推進します。</p> <p>あわせて、高齢者や障がい者が社会から孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民や関係機関が連携した包括的な支援体制を構築します。</p>
<p><b>第3次風連町総合計画</b></p> <p><b>【五つの柱】</b></p> <p><b>I 魅力ある生産基盤の拡充</b> (産業・観光振興)</p> <p><b>II 快適で夢広がる生活環境</b> (都市基盤)</p> <p><b>III ぬくもりと安らぎのある郷</b> (保健・医療・福祉・環境)</p> <p><b>IV いきいきと学びつづける教育・文化</b> (教育・文化・スポーツ)</p> <p><b>V 21世紀への希望あふれるまちづくり</b> (行財政・市民参画・交流活動・コミュニティ)</p>				

旧名寄市・旧風連町	新名寄市総合計画（第1次）	庁内検討若手職員ワーキンググループ 第2次総合計画策定に向けた提言書	第2次総合計画	第3次総合計画（案）
	<p><b>●基本目標4（産業振興）</b> <b>創造力と活力にあふれたまちづくり</b></p> <p>収益性の高い農業生産や農畜産物の加工・ブランド化などを推進します。また、林業の育成や森林の活用にも努めます。さらに、魅力ある商店街づくり、農林業と商工業が融合した産業の振興を図るとともに、雇用の安定向上に努め、自然体験型観光・農業体験など地域の特性を活かしたメニューを充実していきます。</p> <p><b>●基本目標5（教育・文化・スポーツ）</b> <b>心豊かな人と文化を育むまちづくり</b></p> <p>子どもたちの学ぶ意欲を育み、将来を担う人材の育成を図り、市立大学を市民の共有財産としてその施設・機能を最大限活用するとともに、幼稚園や保育所から大学までの連携を一層深め、生涯にわたって自発的な学習を続けていくことができる生涯学習環境の整備に努めます。また、年齢や体力に応じて気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションの推進、地域文化の継承と創造を積極的に進めます。</p>	<p><b>快 適</b></p> <p>人と自然が調和した、だれもが安全で安心して暮らせる快適なまちを目指します。</p> <p>市民が中心となって、地域の住環境について考える機運を高めるとともに、地域の実情やニーズを十分認識し、老朽化が進むライフラインを中心に、計画的に整備します。また、防災体制の強化や除排雪対策にも取り組み、いつでも安心して住み続けられる環境を維持します。</p> <p><b>生涯健康</b></p> <p>市民一人ひとりが主体的に健康づくりを行い、生涯健康で生き活きと輝くまちを目指します。</p> <p>少子高齢化が進み、労働環境・条件等により健康格差が広がっていく中で、運動機会や生涯学習機会を提供し、健康的な生活ができる環境を整備し、市民が健康で自立した生活ができる期間（健康寿命）の延伸を図ります。また、高齢者が生涯安心して暮らせるよう、市民との相互理解のもと、医療・福祉の環境整備を進めます。</p> <p><b>資 源</b></p> <p>地域資源の連携による地域の特性を活かした資源の発掘・利用を目指します。</p> <p>市民が地域に誇りを持ち、今ある資源を有効に活用する中で、観光資源や魅力を発掘し、発信できる環境を整備します。また、地場産品の付加価値向上と競争力の強化を図るため、生産から商品開発・加工・流通・販売・販路拡大（いわゆる6次産業化）に向けた戦略的な取り組みを支援します。</p>	<p><b>●基本目標4（産業振興）</b> <b>地域の特性を活かしたにぎわいと活力</b></p> <p>収益性の高い農業生産や農畜産物の付加価値向上に向けた取組、農業・農村の理解を深める交流を推進します。また、森林施業の集約・効率化を図りながら民有林の造林を進め、森林保全と林業の振興に努めるとともに、持続可能な農林業を構築するため、担い手の育成・確保を推進していきます。</p> <p>さらに、活力溢れる中心街、農林業と商工業が融合した産業の振興を図るとともに、雇用の安定に努め、地域資源を活用した体験型メニューの充実などにより、国内旅行者はもとよりインバウンド観光を推進していきます。</p> <p><b>●基本目標5（教育・文化・スポーツ）</b> <b>生きる力と豊かな文化を育むまちづくり</b></p> <p>未来を担う子どもたちが、多様な可能性を伸ばすことができるよう、教育・保育施設から名寄市立大学、さらに家庭や地域社会がそれぞれの役割を果たし、「生きる力」を育む教育に努めます。</p> <p>また、すべての人が生涯にわたって学習し、質の高い文化・芸術に親しみ、ライフステージに応じたスポーツ活動ができる環境をつくり、市民が誇れる優れた人材の育成に努め、豊かで活力あるまちづくりを進めます。</p>	<p><b>●基本目標3（生活環境・都市基盤）</b> <b>快適な都市空間と自然が調和する安全なまちづくり</b></p> <p>2050年カーボンニュートラルの実現に向け、ゼロカーボンシティとして再生可能エネルギーの導入や環境教育を推進するとともに、次期中間処理施設の供用開始を見据え、ごみの資源化と減量化を市民・事業者一体で推進し、環境負荷を最小化する持続可能なライフスタイルの確立を目指します。</p> <p>また、老朽化する公共施設やインフラの戦略的な維持管理を進め、将来にわたって機能的な都市環境を維持します。</p> <p>あわせて、豊かな自然環境の保全と、脱炭素社会に向けた環境負荷の低減に取り組みます。激甚化する自然災害に対しては、防災・減災対策の充実と市民の防災意識の向上を両輪で進め、雪国の特性に対応した強靱で快適な居住空間を形成します。</p> <p><b>●基本目標4（産業振興）</b> <b>地域の資源を活かした活力とにぎわいのあるまちづくり</b></p> <p>基幹産業である農業において、スマート農業技術の実装による生産性向上と担い手確保を支援し、もち米やアスパラガス等の「名寄ブランド」の価値を高めます。</p> <p>また、本市の物流拠点性を活かした企業誘致や既存企業への支援を通じて、地域経済の活性化と良質な雇用機会の創出を図ります。</p> <p>さらに、スポーツ合宿の誘致や豊かな自然を活かした滞在型観光コンテンツの開発を民間と連携しながら推進します。</p> <p><b>●基本目標5（教育・文化・スポーツ）</b> <b>豊かな心と個性を育み文化を継承するまちづくり</b></p> <p>次代を担う子どもたちが多様な個性を伸ばせるよう、児童生徒一人一人の資質能力、興味・関心・意欲などを的確に捉え、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図ります。</p> <p>また、市民が生涯を通じて学び続け、充実した人生を送ることができるよう、スポーツや文化活動に親しめる環境整備に努めます。</p> <p>また、歴史や文化財の継承については、北国博物館を核とした地域の歴史や文化の普及活動を推進するとともに、地域の宝として文化財の保護と伝承活動の支援を行います。</p>